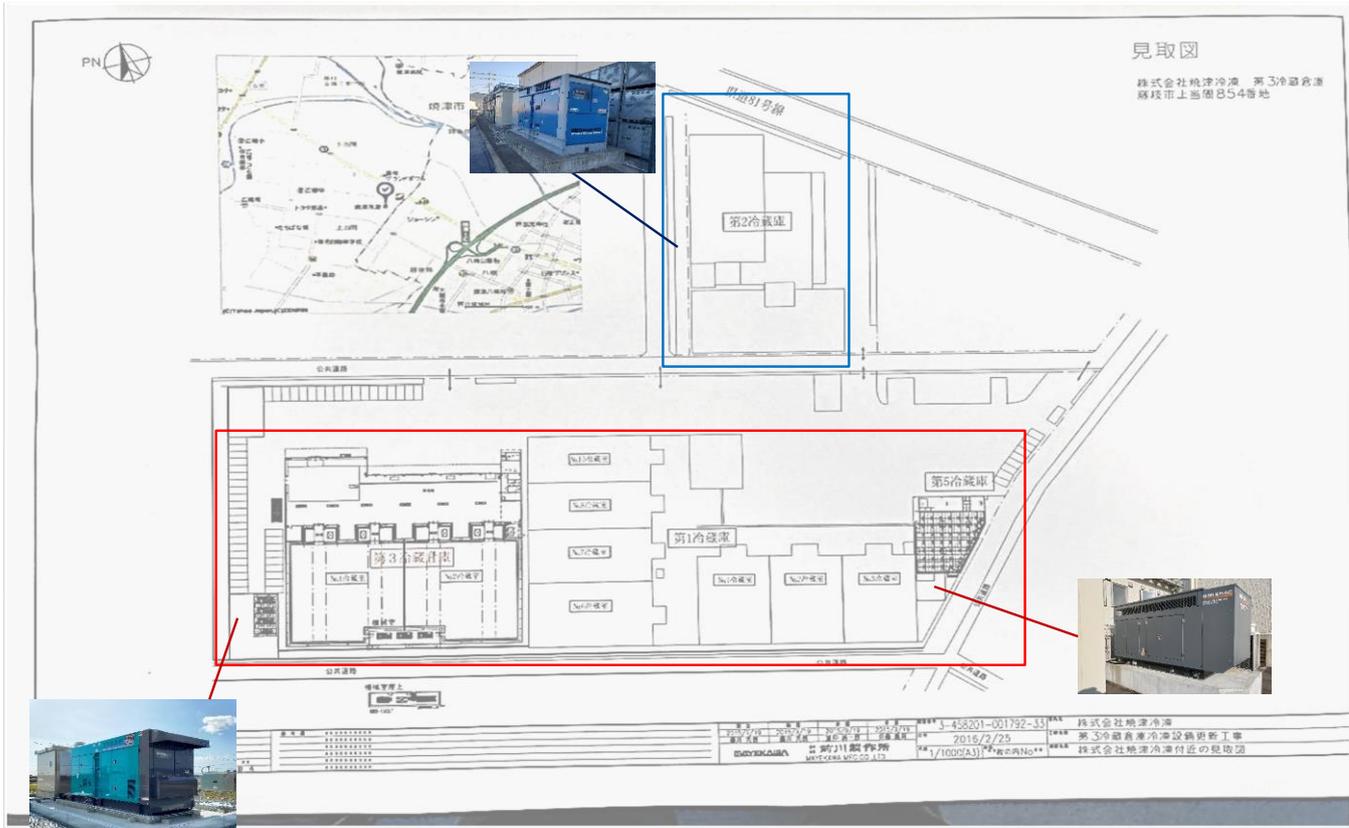


BCPによる、非常用発電機について



各発電機



事務所棟 150 k v



第2工場 400 k v



第1, 3工場 600 k v

発電機仕様

| | 容量 | 燃料 | 燃料タンク |
|---------|---------|------|---------|
| 第1, 3工場 | 600 k v | 軽油 | 20000 L |
| 第2工場 | 400 k v | 軽油 | 750 L |
| 事務所棟 | 150 k v | LPガス | 2.9トン |

想定 備蓄燃料での温度維持時間

| | | -60°C | -50°C | -40°C | -30°C |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 第1, 3工場 | 600 k v | 10日間 | 20日間 | 30日間 | 50日 |
| 第2工場 | 400 k v | 10時間 | 20時間 | 1.5日 | 4日間 |

※インフラ復旧するまで入出庫業務はしません。

※燃料確保により、維持時間は変化します。

令和3年1月に全工場に非常用発電機の設置が完了しております。
 これにより全工場、独自に電源を確保し冷凍倉庫内の温度維持が可能となります。
 結果、お客様の商品の品質保持が確保できる体制が整いました。

非常用発電機設置前までは、対策として入出庫停止のみでしたが、現在は燃料確保が担保できると仮定すれば、電力復旧まで商品品質を守る冷却が出来ることとなります。